

令和7年度魚沼市立湯之谷中学校 学校経営の方針

1 教育目標

正しい判断に立って、全力を尽くしてやり抜く生徒

2 目指す生徒像

- (1) 「自分・相手・社会」のために主体的な「思考・判断・表現」ができる生徒
- (2) 「訂正・修正・改善」を重ねて対話的に「励まし・鍛え・認め」合える生徒
- (3) 「あこがれ・見通し・やりがい」から「知・徳・体」の深い学びへ至る生徒

3 学校経営の基本方針

日本国憲法および教育関係法規に則り、県の学校教育の重点、魚沼市のまちづくり基本理念及び魚沼市学校教育の基本方針等をふまえて、教育目標の具現化を図る。また、これまでの教育実践の成果に基づいた取組を教育活動の中核において学校経営を行う。

(1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ・授業規律、学習マナー、家庭学習の定着と基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、及び「学びの技法」の習得と活用
- ・生徒のリフレクションと、教職員のフィードバックによる「確かな学力」の定着

(2) 心の触れ合いを大切にした教育の推進

- ・WEBQ Uを活用し、学年・学級経営を基盤とした、親和的で温かい学級・学校づくり
- ・学級活動・生徒会活動・学校行事などで、安心して自分らしさを発揮できる雰囲気づくり
- ・「安心感」「共感」「自己肯定感」「自己決定感」から資質・能力を発揮できる環境づくり

(3) 望ましい生活習慣の定着と気力・体力の充実

- ・「眠育」の推進と、十分な睡眠時間の確保、及び望ましい起床時間の定着
- ・家庭における電子メディア使用のルールづくりと、メディアリテラシーの促進
- ・体育的な行事や取組に向けた準備・練習の充実と、地域クラブの活動支援

(4) 家庭・地域と連携した「人づくり」と「郷土愛」の育成

- ・T P Oに応じた、あいさつ、時間、身だしなみ、言葉遣い、聞く態度等の定着と向上
- ・社会の一員としての自覚(秩序・ルール・マナー)、地域の活動への参加と貢献
- ・地域、家庭との連携、幼保小中連携、関係専門機関連携等、相互理解と信頼関係の構築

(5) ウェルビーイングの精神とサステナブルな社会の実現、SDG s への取組

- ・「明るさと専門性」を発揮し、適切な言動・計画的な取組・時間を守る職員集団づくり
- ・学ぶ意義、学び方、目指す資質・能力を明確にした教育課程の実践
- ・カリキュラムマネジメントと指導評価の一体化(ルーブリックの提示)、支援と方策の充実

4 現状と課題

- (1) 豊かな自然に恵まれた里山のよさを残した地域であり、温和で素朴な生徒が多い。一方で、自立性や主体性、積極性や創造性等の表現力の育成について一層の努力が必要である。
- (2) 学習マナーの確立、家庭学習の習慣化、基礎学力の定着等に不十分な生徒が見られる。ワクワクとニコニコがあふれる授業を通じて、積極的に学ぶ意欲を高める必要がある。
- (3) 学校は地域住民に支えられており、一層の信頼される学校づくりが求められる。学区に混在する新旧の住民の心情や家庭環境、産業構造の多様性等にも配慮が必要である。
- (4) 通常の学校生活に馴染めない生徒が、若干ながら存在する。日常生活ではいじめに発展しかけない兆候、あるいは対人関係スキルの不足によるトラブル等も発生している。また、特別な支援を要する生徒が少なくない。生徒に寄り添いながら悩みやトラブルを解決したり乗り越えたりする経験を積ませる。その上で、日常的な人間関係づくりのトレーニング、丁寧なみとりと、問題の早期発見、適切な対応が重要である。

5 目標達成の方策

- (1) 学習習慣の確立と、学ぶ意欲の醸成を軸とした学習指導の充実

目指す生徒 ～夢や目標をもち、意欲的に学ぶ生徒～

- ① WEBQ Uを活用した授業改善、授業規律の確立、授業のUDL化
- ② 学び合う授業づくり（ファシリテーション、話し合い活動、グループ活動）
- ③ 基礎的な知識及び技能の確実な習得（N R T、学力テスト、にいがた学びチャレンジ等の活用）
- ④ 家庭学習の習慣化とメディア時間コントロール（S P T）
- ⑤ 主体的なキャリア形成（キャリアパスポートの活用、進路学習）

- (2) 基本的生活習慣の確立と、豊かな心を育む道徳・生徒指導の充実

目指す生徒 ～自他を尊重し、思いやる生徒～

- ① 多様な意見を重ね合い高め合う話し合い活動（本校の『温かい学級づくり』の中核）
 - ・ルールとリレーシヨンの確立、役割のローテーション、年間計画に基づいた話し合い活動
- ② 「特別な教科 道徳」の授業の工夫（道徳性の発達を促す授業、集団討議、人権教育）
- ③ 特別活動の充実～自己肯定感・自己決定感の育成と社会性の獲得
 - ・週の振り返り（「湯友タイム」）、行事・生徒会活動、S S T、アサーショントレーニング
 - ・生徒が主体的に参画する学校行事、生徒会行事、C S活動への参加
- ④ 5つの教育期の積み上げ（生活目標、道徳授業、人権教育、情報モラル教育、他）
- ⑤ 関係機関との連携（子育て支援センター、児童相談所、SSW、SC、ゆのたにっ子支援クラブ）

- (3) 粘り強く目標に向かって努力し続ける気力と体力の育成

目指す生徒 ～健康を増進し、体を鍛える生徒～

- ① 健康教育の推進（心の教育、感染症予防、眠育、薬物乱用防止教室、性、各種講演会等）
- ② 体育的行事等の充実（体育祭、マラソン大会、スキー授業）
- ③ 健康で安全な生活に向けた啓発活動（薬物乱用防止教室、性に関する指導等）
- ④ 生徒の主体的な諸活動への取組（目標、話し合い、自律心育成、取組の効率化）